

雲ヶ畑産キブネダイオウ・遺伝子解析結果と純系集団保全の課題



キブネダイオウは外来種との交雑、シカ食害などで「野生での絶滅の危険性が高い種」とされます。2018年雲ヶ畑群発見以来、交雑による遺伝子汚染の有無、北山地域出現の経緯などの解明が待たれました。このたび、雲ヶ畑産の遺伝子解析、生態・形態研究をすすめてこられた研究者、府立植物園で域外保全をすすめてこられた技術者、希少植物保全行政をすすめてこられた行政関係者が一堂に会して「雲ヶ畑産キブネダイオウとは」「保全のために必要なことはなにか」などをテーマに意見交換をおこなうことになりました。また、府立植物園で育苗されてきた雲ヶ畑産キブネダイオウ幼若株の「里帰り」活動を計画することになりました。粗大で地味な「雑草」に注目するのはなぜ。絶滅危機からの回復を目指すのはなぜ。貴重な発表と意見交換を通して雲ヶ畑の豊かな自然にも思いをめぐらせたいと思います。地域の皆様、研究者の皆様、行政関係者の皆様、保全団体の皆様に参加を呼びかけます。

日時／2022年3月11日（金・平日）10時～14時

第一部 学習講演会／10時～12時／京都市立雲ヶ畑小中学校

- ①…雲ヶ畑産キブネダイオウとは 遺伝子解析で明らかになったこと／京大大学院助教 阪口翔太氏
 - ②…雲ヶ畑産キブネダイオウの域外保全から明らかになったこと / 府立植物園課長 平塚健一氏
 - ③…環境保全行政と希少種の保全 住民理解と各界の協同 / 府自然環境保全課副主査 小田嶋成徳氏
- ①～③が終了後昼食・その後移動

第二部 自生地での観察と現地説明会／12時30分～13時／雲ヶ畑地域

- ④…自生個体群の観察を通して本種の特徴を学ぶ現地見学・その後足谷口へ車移動（分乗）

第三部 里帰りイベント／13時30分～14時／雲ヶ畑足谷口

- ⑤…府立植物園保全育成株の生育記録報告・株引き渡し式／府立植物園係長 山下幸司氏・足谷の会

場所／第一部・第二部は京都市立雲ヶ畑小中学校およびその周辺・第三部は足谷口

駐車／午前中は巖島神社前駐車スペースに・午後は祖父谷筋足谷口へ（当日案内あり）

持ち物／弁当・飲料など

参加費／なし

実施判断／コロナ感染の状態などで変更がある場合は会ホームページにて連絡／雨天でも実施します

連絡先／<https://ashidaninokai.jimdo.com/> / [Emailashimidani@yahoo.co.jp](mailto:ashimidani@yahoo.co.jp)

